

# 施策マネジメントシート(令和3年度目標達成度評価)

シート1

作成日 令和 4 年 10 月 3 日

## 施策体系

政策名(基本方針)	3	教育の健康	施策名	10	生涯学習の推進
-----------	---	-------	-----	----	---------

施策統括部	教育部	関係課
施策主管課	生涯学習課	

## 1 施策の目的と指標

対象	市民、市外からの通勤・通学者	意図	生涯を通じて学習を行っている
----	----------------	----	----------------

成果指標		単位
A	月1回以上、生涯学習(学び:文化活動、趣味、レクリエーション活動など)を行っている人の割合(市民アンケート)	%
B		
C		
D		

## 2 指標等の推移

成果指標	30年度現状値	数値区分	2年度	3年度	4年度	5年度	評価	背景として考えられること	
A	%	36.7	成り行き値	36.7	36.7	36.7	36.7	○	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外出や様々な活動の自粛を求められ、巣ごもり需要として生涯学習活動の継続や新たな活動を開始した人が増えたものと考えられます。
			目標値	37.0	38.0	39.0	40.0		
			実績値	31.2	40.2				
B			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
C			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
D			成り行き値						
			目標値						
			実績値						

※【評価】 ○:目標達成 △:目標をほぼ達成(-5%) ×:目標を未達成

事務事業数・コスト			2年度	3年度	4年度	5年度	
事務事業数			本数	13	13		
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	1,840	413		
		都道府県支出金	千円	1,578	0		
		地方債	千円	0	0		
		その他	千円	16,991	0		
		繰入金	千円	0	22,327		
		一般財源	千円	316,612	322,398		
	事業費計(A)		千円	337,021	345,138	0	0
	(A)のうち指定経費		千円	2	2		
(A)のうち時間外、特殊勤務手当		千円	0	0			
人件費	延べ業務時間		時間	9,385	9,670		
	人件費計(B)		千円	37,005	37,809		
トータルコスト(A)+(B)			千円	374,026	382,947	0	0

※成果指標の目標値設定とその根拠

A	<p>月1回以上、生涯学習(学び:文化活動、趣味、レクリエーション活動など)を行っている人の割合についての成り行き値は、これまで各種講座などの学習機会におけるのべ参加者数は増加傾向にあります。関心度の高さや人口増加率に比べ平成30年度の現状値の数値が低いことから、大きな変化はないものと考え、平成30年度の実績値で推移するとして令和5年度を36.7%に設定しました。目標値は、多様な学習ニーズに応えるため、学習を阻害している要因を分析し、学習機会の充実をより一層図っていくことで、令和2年度を37.0%とし、以降各年度1.0ポイントの増を目指し、令和5年度を40.0%と設定しました。</p>
---	--

3 施策の特性・状況変化・住民意見等

①施策の基本方針

- ・学習活動に取り組みやすい環境づくりと、学びへの参加のきっかけづくりに努めます。
- ・各施設の計画的な維持管理に努めます。
- ・地域のコミュニティ活動の活性化を図るため、地域学校協働活動を推進します。

②協働によるまちづくりの具体策(施策における市民と行政の役割分担)

市民(事業所、地域、団体)の役割

- ・市民は、学習意欲を持ち、ライフスタイルに合わせ自主的に取り組みます。
- ・地域では、学びを基本としたコミュニティづくりに努めます。
- ・団体は、自立した自主的活動を行います。

行政の役割(市がやるべきこと)

- ・市は、学習機会の提供と情報発信を行います。
- ・市は、各施設の安全で安心な施設管理・運営を行います。
- ・市は、各団体や地域における活動の支援を行います。

③施策の現状(第2期計画策定当初)と今後の状況変化

- ・生涯学習主催講座において、民間委託を積極的に導入しています。
- ・住民のニーズに即した学習機会を提供しています。
- ・各施設の老朽化が進んでいます。
- ・施設更新経費や維持管理経費が増加しています。
- ・地域コミュニティの互助・共助の機能が低下しています。
- ・学校と地域の連携・協働の重要性が求められています。

④この施策に対して住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか?

(令和3年度(令和2年度振り返り)の施策評価における議会意見)

- ・高齢者の認知症予防や引きこもり防止のため、新しい学習機会(例えばeスポーツ等)の充実を図ること。
- ・生涯学習講座等に新たにポイント制を導入して利用者の増加を図ること。
- ・新型コロナウイルス感染症対策の影響で会員数が減少している講座等は支援の手だてをすること。

(令和3年度(令和2年度振り返り)の施策評価における総合政策審議会意見)

- ・イベントや講座等の内容、場所等は参加しやすいように努めること。
- ・健康寿命の延伸を視野に入れた生涯学習を推進すること。
- ・社会教育施設を利用しやすくなるように環境整備を行うこと。

4 施策の評価

①施策の振り返り(施策の方針、経営方針の達成度等)

※ 経営方針からの振り返り、貢献度評価の上位の事務事業を記載

(1)令和3年度経営方針からの振り返りは以下のとおりです。

①「新しい生活様式への支援拡充と利用しやすい環境整備として、生涯学習施設のインターネット予約等を検討するとともに、各自治会公民館等の改修及び備品購入等の支援に努めます。」については、生涯学習施設のインターネット予約は、利用者のニーズも含め引続き検討が必要です。地区公民館建設補助金については、4公民館に交付、地区公民館備品購入補助金については7公民館に交付し、教養、趣味、娯楽などを通じて地域の連帯感を助長するためのコミュニティ活動の振興を図ることができました。

②「幅広い年齢層を対象に健康づくりを基本テーマに教室・講座・文化活動メニュー等、内容の充実に努めるとともに、効果的な情報発信に取り組みます。」については、生涯学習主催講座において民間委託を導入し、教養・語学・趣味・生活・健康講座を開催することができました。また、生涯学習に関する情報を幅広く収集し、チラシの全戸配布やホームページにおいて幅広く周知しました。さらに、新型コロナウイルス感染症防止の観点や、子育て中の方も気軽に受講できるオンライン講座を開設し、住民のニーズに即した学習機会を提供することができました。

③「図書館3館とマンガミュージアム及び歴史資料館が互いに連携し、効果的な利活用を図るとともに、それぞれの魅力発信に努めます。」については、歴史資料館で開催した「洋装への扉を開いた合志の女性 原田茂特別展」において、連携を図りました。特に図書館では、原田茂氏が令和2年度熊本県近代文化功労者に顕彰されたことを受け、市民・県民に向けて、その功績を伝えることを目的に、原田茂氏に関する書籍の購入を行い魅力発信に努めました。

(2)事務事業貢献度評価の結果では、令和3年度施策の成果を向上させるために最も貢献した事業としては、生涯学習講座運営事業があげられました。

貢献した事業としては、図書館管理運営受託事業があげられました。

②施策の課題(令和3年度の施策の振り返りから見る課題)

- ・これまで学習に参加できない人の掘り起こしや、多様なニーズに対応した学習機会の充実が必要です。
- ・各施設の計画的な維持管理や更新が必要です。
- ・地域のコミュニティ活動の活性化が必要です。

5 施策の令和3年度結果に対する審査結果

①政策推進本部での指摘事項(施策目標達成度評価結果報告を受けて令和4年7月22日)

- ・引き続き生涯学習に取り組みやすい環境(ハード・ソフト)づくりに努めること。
- ・引き続き市民ニーズに合った各種講座、催事などを工夫し、情報発信に努めること。
- ・生涯学習人材バンクを活用し、生涯学習指導者の発掘に努めること。
- ・ウィズコロナ、アフターコロナにおける生涯学習を推進すること。

②総合政策審議会での指摘事項(令和4年8月4日、8月10日、8月22日のまとめ)

- ・イベントや講座等の内容の充実を図ること
- ・社会教育施設を利用しやすくなるように環境整備を行うこと
- ・子ども会の活性化を行うこと

③議会の行政評価における指摘事項(令和4年9月6日)

- ・様々な利用者のニーズを調査し、生涯学習講座の時間を工夫すること。
- ・コロナ禍による催事の減少で地域コミュニティの互助、共助の機能低下が心配される。収束後の講座等の拡充について検討すること。

6 次年度に向けた取り組み方針

○政策推進本部 令和5年度合志市経営方針(令和4年10月3日)

- ①新しい生活様式への支援拡充と利用しやすい環境整備として、生涯学習施設のインターネット予約の導入に向けた調査、検討を行ないます。
- ②幅広い年齢層を対象にオンライン講座・文化活動等の内容の充実に努めるとともに、効果的な情報発信に取り組みます。
- ③図書館3館とマンガミュージアム及び歴史資料館が互いに連携し、効果的な利活用を図るとともに、それぞれの魅力発信に努めます。
- ④生涯学習施設を長期に渡って使用し続けられるよう予防保全を施し、安全・快適な生涯学習施設の提供に努めます。